

## CSW 会期中の過ごし方

CSW60 若者支援受賞者、CSW61・62 若者メンター  
草野由貴

### 1. 自己紹介

出典：<https://www.flickr.com/photos/unwomen/33319927451/in/album-72157681372371235/>



お茶の水女子大学名誉教授・戒能民江先生からのすすめで JAWW 若者支援プログラムを知る。CSW60 には JAWW 若者支援受賞者として参加（参加にあたっては JAWW からの支援金はもちろん、戒能先生や北京 J A C 湯前知子さんをはじめとした先輩フェミニストからのカンパをいただいて旅費等をまかなうことが出来た）帰国後も JAWW の活動に参加し、CSW61 と 62 では若者支援受賞者をより身近な立場からサポートする「若者メンター」として JAWW の一員として CSW への参加を続けている。関心領域は DV や性暴力などの Gender-Based Violence (GBV) や Sexual Orientation and Gender Identity (SOGI)。

### 2. CSW 会期中の3つの大きな流れ

- ① 「政府間会合」 = CSW Bureau / UN Women
- ② 「Side event」 = CSW Bureau / UN Women と NGO / UN Women
- ③ 「Parallel event」 = NGO

主にこの3つが同時進行で起こっている。何百もある会議やイベントを自分の関心に合わせて効率よく組み合わせていく！

### 3. スケジュール管理がカギ

① 「政府間会合」と② 「Side Event」はセキュリティチェックを抜けた国連本部敷地内でやるので、敷地外に出なければいけない③ 「Parallel Event」に行く際には移動時間にも注意。自分が何を目的にしているのかをはっきりさせ、優先順位をきちんとつけておく。毎朝の Morning Briefing も欠かせない。

私のスケジュール例 CSW60 :

見逃したくないものや時間の決まっているものを書きだし、あとは国連本部敷地内の電子掲示板やオンラインで情報を集めてスケジュールを調整した。政府間のもは日本の発言予定時刻などの情報を JAWW よりもらって適宜対応。

	日曜日 3月13日	月曜日 3月14日	火曜日 3月15日	水曜日 3月16日	木曜日 3月17日	金曜日 3月18日
8:30						
9:00		性暴力と闘う:法的・制度的改革		モーニングブリーフィング		モーニングブリーフィング
9:30						
10:00						
10:30		女性と女子に対するサイバー犯罪:ストーリーカード、被害者暴力、人身取引	ジェンダーに基づく暴力被害への緊急対応と保護 イニシアチブ	ドメスティックバイオレンスに関する人道的観点からの監視と法改正、および加害者プログラム		LBT女性の包括度を評価する
11:00			女性ジェンダーと女性および女子に対する暴力の軽減と予防のためのグローバルな取り組み			
11:30						
12:00						
12:30						
13:00						
13:30						
14:00						南大塚との昼食
14:30						
15:00		サバイバーとグローバルリーダーが強ひねられた後のケアの重要性を語り合う	アジア太平洋地域のためのアドボカシーのためのアドボカシー	ジェンダーフレンドリーな台北を築く:新しい持続可能な都市の創設		
15:30						
16:00						
16:30						
17:00						イベント手伝い
17:30						
18:00						
18:30						
19:00		サイドイベント:SDGsの実施		国連日本政府代表部のブリーフィング	自由時間セント・パトリック・クスター	サイドイベント:経済領域でのジェンダーギャップをなくすための私たちの挑戦
19:30						
20:00		ミューシカル・シカゴ鑑賞				
20:30						
21:00						
21:30						

#### 4. NY到着!まずは国連への入構証「Ground Pass」を取るところから

国連の敷地内に入り会議やイベントに参加するには Ground Passが必須。出発前にすべての手続きを終え、必要な書類はすべて印刷して持参すること。オンラインチケットや電子データでは入れてもらえないなどトラブルのもとです。

CSWの会期が始まる数日前から Passの配布が始まるので、事前に受け取っておくのが◎。初日の朝に受け取ってから国連本部敷地内に入ろうとすると長蛇の列です。年によっては吹雪くこともあり、寒さ対策が必要→



#### 5. CSWいよいよ開会!その前に…Consultation Day (hosted by NGO CSW/NY)



NGO CSW/NYは様々な国と地域からくるNGOの参加者たちのため、Parallel EventやMorning Briefingなどを運営している団体です。毎年CSW開会前にNGOのための説明会(兼たのしいイベント)であるConsultation Dayを開催しています。

参加することにより、その年のジェンダー平等に関する大きな動きやCSWに関する情報を知ることができます。毎年テーマに沿ったパフォーマンスがあるのも楽しみのひとつ。

#### 6. 毎朝の「出勤」とMorning Briefing

マンハッタン中心部のホテルや物価は高い!節約したい+電車での通勤/通学に慣れている方は、Long Island方面やGramercy方面などから毎朝「出勤」するのもまた楽しいと思います。ご自身の予算や安全安心の観点から検討を。

Morning BriefingではCSWの成果物であるAgreed Conclusions(合意結論)の完成に向けた話し合いがどの程度まで進んでいるのか等を教えてもらえる貴重な機会です。また、NGOからの参加者誰でも手を挙げて発言する機会があります。気になることをどんどんぶつけましょう。朝8:30~などとても早いので要注意!

質問しているところをUN Women公式flickrが捉えてくれました↑



出典:<https://www.flickr.com/photos/unwomen/40161668134/in/album-72157692666997871/>

## 7. CSW 開会式に参加



出典：<https://www.flickr.com/photos/unwomen>

開会式は大変込み合うため、NGOは団体ごとに pass が配布されて、それをメンバー間で受け渡しながら1人ずつしか入ることができません。ザ・国連！という雰囲気の本会議場に入れるので、お土産話にもってこい。入れない時間帯も overflow room で中継を見ることができます。

## 8. 日本政府との Side Event のお手伝い

日本から行く NGO と日本政府とが協力して行う Side Event があります。日本からの参加者としてタイムキープや参加者の案内などのお手伝いをします。国連本部敷地内でのイベント運営に関わるができるのは素晴らしいチャンス。

写真提供：日本 BPW 林智意さん



## 9. 日本政府代表部でのブリーフィングで質問

国連本部の近くにある日本政府代表部で行われる情報提供の場です。実際に日本政府代表として各国と交渉にあたっている方たちからお話を聞いたり、質問をすることができます。外交ですから答えられることと答えられないことがあります、どんなことに注目して NGO から参加しているのかアピールする意味もあります。

※電子機器の持ち込み不可で写真もちろん不可。ある意味では国連本部より入れない所かも。

## 10. ユース向けプログラム (Youth Forum/Youth Dialogue) で語り合う



近年、若者に対してスポットが当てられているようで、CSW61, 62 と2年連続で若者向けのプログラムが開催されました。まだ試行錯誤の段階のようで、年によりその方式は大きく変わります。驚くほど積極的な世界のユースと触れ合う機会です。

出典：<https://www.flickr.com/photos/unwomen/40869793371/in/album-72157692666997871/>

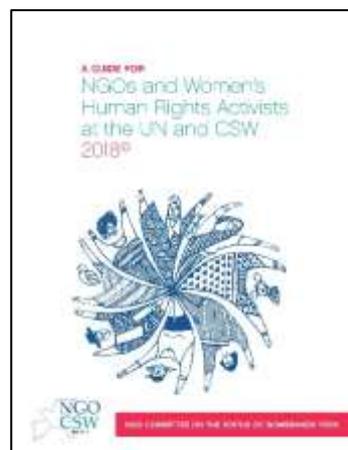
## 11. Advocacy Trainingで全体像を把握する

NGO CSW/NYが主催しているParallel Eventのひとつ。CSWっていったい何なの？何をしていた、私は何をしたらいいの？という初心者に向けたレクチャー。「国連で使われる英語は、普段使っている英語とは別の言語」と言われるほど一語一語の持つニュアンスが大切な世界。Advocacy Trainingに行くのと行かないのでは理解に大きな差が出ると思います！

【ネット上でも公開中の無料のテキスト】

advocacy training cswで検索！

<http://www.ngocsw.org/archive/news-you-can-use/advocacy-training-negotiations-womens-human-rights> からダウンロードも可能



## 12. 様々な会議やイベントへの参加、学んで次につなげる

「日本の常識は非常識」というほどジェンダー平等の進んでいない日本。国内では触れる機会が少ない最新の情報をたくさん吸収して！

世界は広いようで狭い！CSW会期中は世界的なアクティビストも「政府の偉い人」もそこら中にウロウロしています。コネを作って今後につなげて！！私はCSWでのご縁でたくさんの発表の機会をいただきました。



日本ガールスカウト連盟にお呼ばれして高校生にレクチャー（左）



国立女性教育会館での「男女共同参画推進フォーラム」  
会館提供ワークショップをコーディネート（上）



台湾で開かれた East Asia Democracy Forum Workshop on  
Ending Sexual/Gender-Based Violence in Asia で登壇

13. +αやりたいことはとことんやる



毎日、朝から晩までとても忙しくなりますが、どうせ行くならやりたいことは何でもやり切って！私は家庭内暴力（虐待やDVも含め）の被害を受けた方のための包括的支援機関の Family Justice Center にも見学に行きました。これも現地でしかできない経験。

たまにはブロードウェイで観劇したり、息抜きも入れつつ、最後までしっかり学んで楽しむ！

14. 帰ってきたらぜひ振り返りを

CSW 会期中は毎日が目まぐるしく過ぎていきます。年によってはとても寒かったり乾燥によって風邪をひく参加者もちらほら。体調管理に気を付けて、インプットで精いっぱいな毎日を乗り切ろう。(私はあらゆるサプリと愛用の風邪薬、布マスクを必ず持参します) もらえる資料はとことんもらい、帰ってきてからのアウトプットで今後活かしてください♪

CSW60 では、買って1年も経っていないブーツが壊れるほど動き回りました。慌ててNYで買ったブーツで、CSW61と62を楽しく過ごしました。Good luck!



\*\*\*\*\*おまけのお金の話\*\*\*\*\*

CSW60 でかかったお金

旅費	確か大韓航空使用。Long Island でバストイレ付の部屋に宿泊
参加費	申込や参加にかかったもろもろ
食費	体調管理のため高くても健康的な食事を心がけた
雑費	ポケット WiFi を借り、旅行保険に加入した

⇒これで23万程度かかりました。ただし、ホテルのグレード等でかかる費用は大きく変わりますので、あくまでも一例としてご参考までに。